

事務事業名	三つ子の魂育成推進懇談会議運営事業				担当	健康福祉部 こども家庭課 第一子育て支援センター			
政策名	0	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				増補版施策名			
施策名	2	子育て支援の充実				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市次世代育成支援対策行動計画				事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠	三つ子の魂育成懇談会設置要綱					☒ 単年度繰返（開始年度 13 年度～）			
予算科目	1.一般会計	3.民生費	2児童福祉費	1児童福祉総務費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	三つ子の魂の育成について、有識者から広く意見を求め、本市の三つ子の魂育成の推進を図るために、懇談会議を設置した。懇談会議の開催は、市長が必要ときに招集し、委員は開催することにより有識者の中から市長が若干名を依頼して組織する。懇談会議は、委員の互選により座長を置き、議長となって懇談会議を主宰する。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 ・市内の幼児教育・保育関係者を委員とし、三つ子の魂育成事業内容の紹介をするともに、子育て保護者への働きかけについての意見を求め、今後の事業推進の参考とした。 平成29年度の懇談会テーマ「子育て家庭への支援を考える～子どもの貧困から見てくるもの～」 31年度計画 ・三つ子の魂育成推進室の廃止により懇談会は廃止する。				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
				名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア：懇談会議の開催数						1	1	1		
イ										
ウ										
エ										
オ										
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・懇談会議委員				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア：懇談会議委員数						21	19	22		
イ										
ウ										
エ										
オ										
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・懇談会議を開催し、三つ子の魂育成を推進していくための適切な意見を出してもらい、今後の事業推進の参考とする。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア：事業に出された意見数						11	12	15		
イ										
ウ										
エ										
オ										
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・出された意見を参考に、三つ子の魂育成事業を推進し、心身ともに健全な子どもの育成を図る。				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
				名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア：三つ子の魂育成事業に参加している人						2,542	2,777	3,566		
イ										
ウ										
エ										
オ										
(2) 総事業費の推移				単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	58	102	103	0	0	
			事業費計(A)	千円	58	102	103	0	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	2	3	3	0	0	
			延べ業務時間	時間	120	120	120	0	0	
			人件費計(B)	千円	503	498	498	0	0	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	561	600	601	0	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		平成13年に子育て関係者や有識者等の意見を三つ子の魂育成事業に反映させ、事業の推進を図るため開始された。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		核家族が増え、地域とのつながりも希薄になる中、子育て中の保護者の考え方が多様化している。 また、保育所、幼稚園のほかに認定こども園が新たに創設され、保育現場でも新たな対応が求められている。そのようなさまざまな社会の流れに対応するため、意見を出し話し合う場として懇談会議の活用が期待される。平成30年度からは三つ子の魂推進室の廃止に伴い、三つ子の魂育成推進懇談会は廃止する。								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		・懇談会を通じ、どこの園（所）でも同じような問題点を抱えていることが分かった。（委員）								